

## 授業概要

資料の組織化は、大きく記述目録法と主題目録法の2部から成り立っている。前半は記述目録の演習を中心に目録規則の適用について学び、また主題分析の基礎についても学習する。後半は主に日本十進分類法による分類作業を中心に、主題目録法の実際についてのスキルを学ぶ。毎回授業の初めに、前回の授業の簡単な確認テストを行うことにより、知識の定着をはかる。

## 授業計画

|      |                   |      |                   |
|------|-------------------|------|-------------------|
| 第1回  | ガイダンス             | 第17回 | 日本十進法の構成          |
| 第2回  | 記述に関する総則          | 第18回 | 形式区分、地理・海洋区分、言語区分 |
| 第3回  | 図書の記述（タイトルと責任表示）  | 第19回 | 分類規定              |
| 第4回  | 図書の記述（版、出版・頒布等、他） | 第20回 | 哲学 1類             |
| 第5回  | 図書の記述（総合 ①）       | 第21回 | 歴史 2類             |
| 第6回  | 図書の記述（総合 ②）       | 第22回 | 社会科学 3類（前半）       |
| 第7回  | 各種資料の記述           | 第23回 | 社会科学 3類（後半）       |
| 第8回  | 継続資料の記述           | 第24回 | 自然科学 4類・技術 5類     |
| 第9回  | 標目と排列             | 第25回 | 産業 6類             |
| 第10回 | 主題分析と統制語彙適用の実際    | 第26回 | 総記 0類             |
| 第11回 | ネットワーク情報資源のメタデータ  | 第27回 | 芸術 7類             |
| 第12回 | 基本件名標目表の概略        | 第28回 | 言語 8類             |
| 第13回 | 件名規定              | 第29回 | 文学 9類             |
| 第14回 | 集中化・共同化による書誌データ作成 | 第30回 | 図書記号・別置記号の付与      |
| 第15回 | 書誌データ管理・検索システムの構築 | 第31回 | 総合演習問題            |
| 第16回 | 前期中間試験            | 第32回 | 筆記試験              |

## 到達目標

情報資源組織論で学んだ理論や知識をもとに、実際に記述目録や主題目録の作成作業を行い、目録作成の基本的スキルを修得する。

## 履修上の注意

- ・シラバスの内容は、進行状況に応じて前後することがある。
- ・毎回の授業のレジュメはその前週に配布する。
- ・授業開始後20分経過して入室した者は欠席とする。
- ・毎回の授業の初めに小テストを行う。**欠席・遅刻は原則認めない。**

## 予習・復習

- ・授業の前に、**テキストの該当ユニットを必ず読むこと。宿題をきちんとこなすこと。**
- ・前もって配布されたレジュメの穴埋めを完成しておくこと。

## 評価方法

毎回の小テスト前後期（50%）、前期試験（25%）、学期末試験（後期）（25%）によって総合的に評価する。

## テキスト

- ・教科書名：『情報資源組織演習』
- ・著者名：和中幹雄・山中秀夫編著（JLA 図書館情報学テキストシリーズ3）
- ・出版社名：日本図書館協会
- ・出版年（ISBN）：2016（978-4820415152）

その他必要な資料や参考文献等は、適時提示・配布する。